



2025年
(令和7年)
春号
Vol.19

枚方市議会議員

奥野みか

すべての人々が、「今」を輝いて
生きていける社会をつくる

●奥野みかの視点(全員協議会)

2月20日、全員協議会が開催されました。大規模災害に備えるためにも、自治の拠点となる市役所新庁舎は、防災拠点機能を持つ④街区の公園・広場と隣接して整備し、⑤街区に訓練施設のある枚方消防署庁舎を整備することが、より早く、より安く、より効果的な安全・安心の拠点形成につながると訴えました。

現在と将来の市民のためになる判断を ～ダブル移転のゴリ押しに **NO!!**



④街区にある枚方市役所庁舎を⑤街区の旧北河内府民センター跡地に移転させ、現枚方消防署庁舎を隣接の⑤街区内ではなく旧中宮北小学校跡地に**遠隔地移転**させる「**ダブル移転のゴリ押し**」が市の案です。それに対して、私は、**枚方市役所庁舎は現在地周辺となる④街区内の市有地に整備し、枚方消防署庁舎及び訓練施設を現在地隣接の⑤街区内の公有地等を活用して整備する「対案A」**を示しています。

ダブル移転

私の **対案**



▲全員協議会

【注】以下の図は、専門職の協力を得て作成した対案Aのイメージをわかりやすく示す「ポリウムイメージ図」です。

■ 防災公園整備エリア

- ・一時的な避難場所のみならず、広域的な避難場所としても対応できる**高度な防災・減災機能を備えた「防災公園」**の整備を求めます。
- ・平時にはさまざまな年代の人々の憩いと楽しみの場となり、発災時には防災拠点となる**フェーズフリーの「防災公園」**の整備が求められます。

■ 消防・警察署整備エリア

- ・**中心市街地の消防力**のさらなる向上が求められています。
- ・訓練施設や高度化された消防・救急・救助機能を備える枚方消防署新庁舎の整備を求めます。広域連携を可能にするヘリポートも必要です。
- ・エレベーターのある、あたりまえの**合理的配慮**と、優れた機能を有する新しい枚方警察署が集積する地域づくりを連鎖的に進めるべきです。

■市役所新庁舎整備エリア

- ・大規模災害に備えるということが本市の最優先課題です。
- ・自治の拠点であり、災害対策の拠点となる市役所新庁舎は、広くて、高度な防災・減災機能を持つ「**防災公園**」に隣接して整備されることが、最も合理的です。
- ・平時においては、子どもを大切に、子育てのしやすいまちであることが実感できる機能や施設が集積された子育て・子育て支援機能拠点などの複合施設の整備を求めます。
- ・発災時には、その複合施設が、防災関連の諸機能をバックアップし、「**防災公園**」と一体となった**防災支援拠点**になります。

【④街区 23,300㎡】
一般地権者3,300㎡
市20,000㎡

【⑤街区 16,400㎡】
一般地権者700㎡
国4,000㎡、府7,700㎡
市4,000㎡ 81446627,135.65